

2017年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	阿野 幸一
基礎ゼミのテーマ	英語を「学ぶこと」と「教えること」について考える －日本人が英語を身につけるための効果的な方法について、文献や授業の映像から考察し、理解を深める－
サブテキストなど	適宜、英語学習についての資料を配布し、小中高で行われている優れた授業の映像を見ます。
お勧め対象	英語の学び方や教え方に興味を持っている学生。ゼミは英語と日本語を使い分けて行います。

担当者名	生田 祐子
基礎ゼミのテーマ	「異文化 + 国際理解の道具としての英語： リアルな英語で世界と未来へつながろう！」 英語力向上は、言語の知識（単語力や文法）+ WTC(=Willingness to Communicate/話したい意志)+ 使用頻度（機会や環境）が鍵になります。このゼミでは、WTCを高め、英語の発信力を磨く仕掛けを用意しています。異文化や国際理解に関する諸問題を題材に学習スキルを学びつつ、英語でSDGs(持続可能な開発目標)について意見交換しませんか。ミニ模擬国連会議を実施します。お楽しみに！
サブテキストなど	必要な教材を配布します。
お勧め対象	1. NY 国連本部研修や英語模擬国連への参加を願っている学生。 2. グローバル教育の視点から英語教育を実践したい教師の卵。 3. 長期留学のために、英語力アップを真剣に願っている学生。 または、何よりも英語が好きな学生のみなさん！！

担当者名	金井 恵里可
基礎ゼミのテーマ	新聞を読む 社会を知る －新聞記事を持ち寄ってグループディスカッション・グループ発表・ディベートを行うことにより、社会を見る目を養う－
サブテキストなど	日刊新聞各紙(スポーツ紙は除く) インターネット版のプリントアウトでもよいが、検索機能によって記事を選んではいけません。
お勧め対象	世界と日本で起こっていることを幅広く知りたい学生。新聞を毎日読まなければと思っているが一人ではなかなか続かない学生。社会の動きについて、クラスで論じ合いたいと思っている学生。

担当者名	北野 マグダ
基礎ゼミのテーマ	This seminar will discuss ways to improve English skills. The most important ingredient for mastering English is to <u>spend time</u> either using or studying English. Students will be expected to try each of the methods on their own time, and report on the effectiveness and their impressions.
サブテキストなど	Will be announced in class.
お勧め対象	Students who seriously wish to improve their English skills, and are willing to spend time to do so.

2017年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	齊藤 功高
基礎ゼミのテーマ	世界の中の日本、日本の中の世界 —世界の現状と日本の立ち位置を学び、日本の中の国際化を調査し、それらに関するディベートを通して、今後の日本と自分の方向性を検討する—
サブテキストなど	新聞、雑誌、資料、ネットなどのデータを通して学習します。その他授業で使うテキストが出てくれば、その都度指示します。
お勧め対象	国際協力分野の学生でグローバル化の中の日本の針路に関心のある学生

担当者名	千葉 克裕
基礎ゼミのテーマ	外国語習得研究について基礎知識を得る。 新書や論文を講読しながら、言語習得についての基礎知識を得ると共に、文献レポートやその発表の仕方を学びます。
サブテキストなど	「外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か」白井恭弘著 岩波新書 700円（税別）
お勧め対象	言語習得や英語教育に関心を持っている学生にお勧めです。（本を読むことが好きな学生）

担当者名	本浜 秀彦
基礎ゼミのテーマ	ニッポンの視覚文化の伝統と現在 —「日本」が世界に誇る、浮世絵、マンガ、アニメ、映画、絵本、紙芝居を学び、表現力を高める—
サブテキストなど	教場で指示します。
お勧め対象	1) 日本の文化や歴史に関心を持つ学生、2) 日本近現代の絵画、映画、写真などの視覚表現やポピュラーカルチャーに関心のある学生、3) 日本の「いま」を、英語で発信したい学生、ほか。

担当者名	山崎 裕子
基礎ゼミのテーマ	「哲学すること」を通して、「考える力」を培う —ものごとの表面を見るのではなく本質を知るように努力し、どの時代やどの社会にも適応できる力をつける—
サブテキストなど	谷川徹三『哲学案内』講談社学術文庫 157（プリント配布） 「ソクラテスとプラトン」「ものを考えるとはどういうことか」「哲学と科学」などを取り上げる予定です。ゼミ生が輪番で発表します。
お勧め対象	考えることが好きな学生。世界に目を向けて、日常生活に新しい視点を加えたいと思っている学生。

担当者名	渡邊 暁子
基礎ゼミのテーマ	モノから考えるわたしたちの世界 —国家という大きな枠組みではなく、人と人とのつながりのあり方、モノと人との関係、およびその歴史について、文献調査やフィールドワーク、グループ発表、ディスカッションを通して理解します—
サブテキストなど	今年度の題材は「食」です。したがって、『世界の食に学ぶ—国際化の比較食文化論』（河合利光編著）を中心に、「食」に関する文献、映像資料を用います。
お勧め対象	「歩く・みる・きく」が好きで、異文化理解、文化交流、国際協力等に関心を持つ学生。 ※9月30日（土）or 10月1日（日）には、グローバルフェスタでフィールドワークを実施する予定です。